

項目		
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	「肺癌アファチニブ治療患者に対する外来栄養指導時の栄養評価と体組成変化率の評価」
	研究目的	アファチニブ（ジオトリフ®）は、下痢の発現頻度が高い薬剤であることから多職種による患者サポートに取り組んできた。栄養面では 2015 年 9 月から下痢対策に特化した栄養指導を入院治療開始時に実施した。しかし下痢症状が顕著に現れるのは退院後のことが多いため、2017 年 8 月からは、退院時、退院後 2 週間・1 か月時にも栄養指導を増やし実施してきた。その際、MNA®を用いた栄養評価と体組成測定にて体水分量の評価もルーティン化し、また在宅での栄養課題にも対応できるようにした。今回、退院後の栄養評価として MNA®と体組成の変化を調査する。
	研究対象者	2015 年 9 月 1 日から 2019 年 3 月 12 日までに入院でアファチニブ治療を開始し、栄養指導が実施できた症例
	研究期間	西暦 2020 年 1 月 8 日～西暦 2020 年 1 月 24 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input checked="" type="checkbox"/> その他（体液量測定結果用 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 紙）
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	栄養管理科 管理栄養士 田中明美
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	栄養管理科 管理栄養士
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし